

会 議 録 (要 旨)

会議の名称	第1回戸田市文化芸術推進審議会
開催日時	令和8年5月29日(金)午後3時30分～午後4時45分
開催場所	戸田市役所 1階 101会議室
出席者氏名 (委員)	<p>会長 友岡 邦之 (高崎経済大学教授)</p> <p>副会長 金子 篤徳 (戸田市文化協会副会長)</p> <p>委員 齋藤 さつき (戸田市文化会館館長)</p> <p>委員 穴戸 幸子 (戸田市美術展覧会実行委員会委員長)</p> <p>委員 益子 葵 (公募市民)</p> <p>委員 河合 尚市 (公募市民)</p> <p>委員 櫻井 聡 (市民生活部長)</p> <p>委員 川和田 亨 (教育委員会事務局部長)</p>
欠席者氏名 (委員)	なし
事務局	文化スポーツ課文化担当
議 題	<p>(1) 文化芸術推進基本計画に基づく進捗管理について</p> <p>(2) 令和8年度における取組について</p> <p>①アーティストバンクについて</p> <p>②データの一元化について</p>
会議の経過	別紙のとおり
議事録確定	令和8年 月 日 会長 友岡 邦之

(会議の経過)

発 言 者	議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
	■開会
	■あいさつ・委員紹介
事務局	■議題（１）文化芸術推進基本計画に基づく進捗管理について 文化芸術推進基本計画策定に係る令和８年度以降の施策について説明
会長	議題（１）について質疑等があればお願いしたい。
委員	質疑なし。
事務局	■議題（２）令和８年度における取組について ①アーティストバンクについて 文化芸術推進基本計画におけるアーティストバンク施策の位置づけ、概要 他市事例、今後の方向性、検討事項等について説明
会長	議題（２）①アーティストバンクについて質疑等があればお願いしたい。
委員	検討事項の方向性等の最終決定はどのようにされる予定か。
会長	令和９年２月の第２回文化芸術推進審議会までに各委員にアーティスト バンクについて共有する機会はあるだろうか。
事務局	アーティストバンクの構築については、本日の会議で委員の皆さまからい ただく意見やアイデアを踏まえ、市で決定することとなる。その後、第２ 回文化芸術推進審議会での内容の共有を考えている。
委員	今後の検討事項において、 ・アーティストの定義（プロ、アマチュア、セミプロ）のすみ分けについ て、プロとアマチュアのみでのすみ分けが良いのではないかと感じる。セミプロはど ちらかというプロに分類される区分であり、「自身の技術を売る」という 点ではプロである。本業がアーティストではない人をプロとアマチュアの 間にセミプロという区分で入れることで、区切りが余計不透明になってし まうように感じる。 ・「戸田市ゆかり」の定義について、市外のアーティストを取り入れること 自体には賛成であるが、「戸田市ゆかり」のみでは拡大解釈ができてしまう 懸念がある。また、市外のアーティストが参入することで、市内のアー ティストの活動の幅を狭めてしまうことも避けたいと考えている。アー ティストバンクの本来の目的は、市内に根付いている人を育てること、市内の 指導者から教わることで文化芸術のレベルを上げていくことだと考える。

	<p>「戸田市で生まれた」、「戸田市在住」、「戸田市出身者」等、明確な線引きの定義が必要ではないだろうか。例えば、北海道からのアーティストの交通費の扱いなどの検討も必要である。</p> <p>・部活動地域展開の指導者について、吹奏楽部等音楽の部活動は、できるだけ継続して教えることができる人を選任することが良いと考える。指導者が変わると指導内容も変わってしまうため、「毎週誰か（指導者）がいること」ではなく、「この期間は毎週この指導者がいる」といったように、指導者の固定が受講する側の育成面では有効である。</p>
会長	<p>アーティストバンクや部活動地域展開等については、他自治体の前例があるはずであるため、市には引き続き他自治体の研究を行ってほしい。</p>
委員	<p>「戸田市ゆかり」の定義について、戸田市在住ではないが戸田市出身という形でも有名な俳優など知名度のある人に率先してアーティストバンクに登録していただくことで、広告塔になることができると考える。</p>
会長	<p>誰がアーティストバンクに登録するのかは、人の目を引きつけるといった点で確かに非常に重要な観点であると考えます。</p>
副会長	<p>最近、演奏家協会という団体が創設された。基本的にはセミプロのメンバーで構成されており、各構成員は演奏で生計を立てているわけではなく、プロ、アマチュアで分けてしまうと区分が難しいところである。プロは敷居が高く、プロ、アマチュアとの混同も難しい。私自身はセミプロのアーティストの存在は大きいと考えており、アーティストの定義にセミプロのアーティストをどう取り入れるか、検討した方が良いと考える。</p> <p>また、アーティストの審査を行うこと自体が難しく、ジャンルが異なるとより一層専門的な知識が必要となるため、アーティストバンクの実施主体は第三者事業者ではなく市や財団が取り纏めることが良いと考えるが、市や財団が審査をする難しさは変わらないと考える。</p>
委員	<p>アーティストバンクに登録する人を「戸田市認定アーティスト」とするのはどうか。</p> <p>その人が何をしている人かを見ることは難しいが、プロフィール等、一般の人でも読めるものを提出・登録してもらうことで、選別は受け手（アーティストバンクを見る人）に任せてみるのはどうか。</p> <p>公的機関が審査等を行わない方が良いのではないかと。</p>
事務局	<p>アーティストバンクの構築に当たって、まずは、市としてどのような意味</p>

	<p>を持たせて実施していくかをしっかり考えていきたい。最終的な目標として、市民の文化芸術活動を始めるきっかけや次世代の育成に繋がりたいと考えている。基本的には、「地産地消」の運用を前提としているが、趣旨を明確にした上で、今日いただいた委員の皆様のご意見を取り入れていきたいと考えている。</p>
事務局	<p>■議題（２）令和８年度における取組について</p> <p>②データの一元化について</p> <p>データの一元化について、他市事例を紹介するとともに、他市の文化芸術情報の発信活動におけるアプリの活用事例を報告</p>
会長	<p>参考に紹介していただいた自治体のサイトは、まさに情報が一元化されている事例である。予算が多く投入されていることもあり、クオリティも高い。また、アプリについては、興味のある人しか利用されない可能性があるが、市公式LINEは、行政情報の一環として配信されるため、今まで文化に関わりのなかった人にもリーチできる可能性がある。</p> <p>他に質疑等があればお願いしたい。</p>
委員	<p>特定の（文化芸術情報配信用の）アプリではなく、市民がよくアクセス、受信するツールの中で配信する方が良いかもしれない。</p> <p>広報等、他の行政情報等の中に入れていく方が目に入りやすい。</p>
委員	<p>文化会館では、土曜や日曜の休日に「何か公共施設でイベントやっていますか。」という問合せを受けることが多くあり、市内のイベント等の情報が一元化されたものがあつた方が案内を行う上で便利だと考える。</p> <p>また、同日に同じ催事を別の公共施設で開催する等、参加者を市内の公共施設同士で取り合う形になってしまう事例も多々あり、繋がっているようで公共施設同士の横の繋がりはないところである。計画段階からでも情報を見ることができたら、お互いに行事を企画しやすいのではないかと考える。</p>
事務局	<p>文化芸術推進基本計画の検討時の議論においても、情報が散らばっている、そもそも情報をどこで取れば良いのかわからない等のご意見があるため、情報を一元化してわかりやすくするとともに、市民など多くの方に情報が届くように周知を強化することが重要であるとのご意見があつた。</p> <p>事務局としては、情報が市民等に届くようにプッシュ通知が有効であると考えたため、他自治体のアプリ事例について調べたところである。皆さま</p>

	<p>からのご意見のとおり、特定のアプリではなく、市公式LINEのように、他の目的でアクセスする途中で振れられる方が有効であると思った。そして、アクセスした先のサイトで、情報が一元化されていることや情報がわかりやすい、見やすいをどうデザインするのか、という話になる。</p> <p>まずは、市民が更に興味を湧くような情報提供方法を設計していきたいと考える。そして、まず、市民に気づいていただいて興味を持っていただくこと、戸田市として発信したい、受け取ってほしい情報は何かをしっかりと考えていきたい。</p>
事務局	<p>■ 4 その他・連絡事項</p> <p>令和8年度については、文化芸術推進審議会は年2回の開催を予定しており、次回第2回審議会については令和9年2月の実施を予定している。</p> <p>今回いただいた意見を踏まえて、経過を報告する。</p>
	<p>■ 5 閉会</p>